



白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより



あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」－酪農家の心を食卓へ－

今月の特集

白バラから笑顔を届ける
社会と組合の繋がり

現場潜入

伝統と最新設備で進化を続ける
大山バター製造の現場

各種活動レポート

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ



白バラから笑顔を届ける 社会と組合の繋がり



コロナ禍で感じた お客様の想い

この数年、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、私達の生活は大きく変化しました。

中でも昨年の年末から今年の年始にかけて不安視された生乳処理不可能乳の発生は、岸田首相が需要促進を促す発信をするなど酪農乳業界にとって大きな出来事に発展しました。

日本国内では「プラスワンプロジェクト」という大きな波となり、消費者の皆さんも、酪農乳業界の発信を受け牛乳や乳製品の利用促進にご協力いただいたことで、不安視されていた年末年始の生乳廃棄は回避されました。実は時を同じくして、私達の元へは多くの激励の言葉が寄せられていたのです。

新型コロナウイルスが猛威を振るい始めた2020年から組合のホームページへは鳥取県の酪農家や大山乳業農協で働く従業員の健康を気遣うメッセージや、牛乳を飲むことで役に立ちたいというメッセージが増えており、毎月寄せられています。このような気持ちのやり取りは、改めて多くの人や社会とのつながりを感じ、いかに社会に支えられているかを感じる出来事となりました。

大山乳業農協のために行動を起してくださった人や社会の動きがあるように、私達も社会に還元する活動、いわゆる「社会貢献活動」に取り組んでいます。

今回は、大山乳業農協と地域との関わりを「社会貢献活動」の視点から紐解いてみたいと思います。

日本は古くから社会貢献の精神「三方よし」があった

古くから日本には「三方よし」という言葉があります。「売り手よし、買い手よし、世間よし」という精神で、売り手や買い手が満足するのももちろん、世間（社会）にも喜ばれるべきという考え方です。

この精神は、現代の「社会貢献」の考えに繋がり、特に2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の認知拡大により、この取り組みは「企業の社会的責任」としてさらに重要視されています。

大山乳業農協は企業の社会的責任を果たすため様々な形で社会貢献活動に取り組んでいます。

昨年を振り返ると、地域の子ども食堂への組合製品の提供など「食で支える」活動、地元の海岸の清掃活動といった「環境を守る」活動、他



P2 ホンデリング(北栄町) 寄付のようす / P3 (右
上より) フードドライブ寄付、子ども食堂へクリスマス
マスケキ寄付、車いすバスケットボールチーム
をステッカーで応援、NPO法人とのコラボグッズ
制作、地元海岸清掃、鳥取県から甲子園出場高を応
援する広告の掲出



子ども食堂では、生クリームを使ったデザートが使われました

企業や行政と協力し「未来につなぐ」活動などを行ないました。

特に、ここ数年はSDGsの取り組みが盛んに行われ、子ども食堂への製品提供や家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめた地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する「フードドライブ」等の社会問題の解決に取り組む活動への協力も増えています。

その他にも、NPO法人とのコラボグッズ製作や、車いすバスケットボールのチームを応援する活動など、多方面から人や社会との繋がりを大切にしていきます。

これからもつづく 社会と組合とのつながり

私達の社会貢献活動は、これまで何年も続けてきたものもあれば、他企業からお声かけいただくものまで様々です。きっかけは様々ですが、私達が想いを込めてお届けする製品と同じように、「形あるもの」「形のないもの」関わらず、届ける全ての気持ちの組合の想いとなり受け取る誰かの「笑顔」に繋がっていれば嬉しく思います。

私達が、酪農をし製品をつくるには、私達だけでなく地元の皆さんや社会の協力が不可欠です。これからも私達を育んだこの地、鳥取と組合製品を愛してくださる全ての方への感謝の気持ちを社会貢献活動に変え、地域や人を元気にする事が大山乳業農協の社会貢献活動の姿ではないかと感じました。

私達の社会貢献活動はこれからも続きます。

鳥取県民や白バラファンから愛される「白バラ牛乳」を製造する企業の一員として、社会を動かす一員として、お客様と共に歩んでいくために。



進化する製造現場の技術 伝統と最新設備で進化を 続ける大山バター製造の現場

皆さんは「トーストに塗るもの」と聞いて、何を思い浮かべますか？多くの方が『バター』と答えられると思います。カリカリに焼けた表面をひとくち齧ると、口いっぱい広がる豊かなバターの風味。それだけで少しリッチな気分になります。

今回の現場

潜入では、そんな大山バターについて、製造のようすからおいしさの秘密まで、深く掘り下げていきたいと思います。



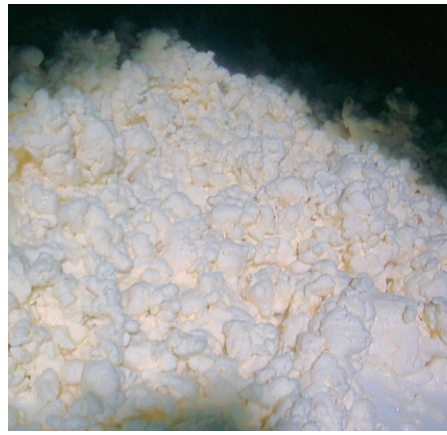
昔ながらのチャーシュー製法と
進化する製造現場



大山バターをはじめ、大山乳業農協のバターはすべて昔ながらのチャーシュー製法で製造されています。

チャーシュー製法とは、巨大なサイコロのような『チャーシュー』と呼ばれる装置で生クリームを攪拌し、脂肪分と水分に分離する事でバターを作ります。この製法は、大手メーカーが採用する連続式バターマシンでの製造と比べ、手間暇がかかるうえ一度

に製造できる量も限られますが、チャーンの中で丹念に練り上げられたバターは水分量が少なく口当たりもまるやかで、コクと風味には段違いの差が生まれます。



製造途中のチャーンの内部

チャーン製法によるバターの製造は一日として同じことはありません。その日の気温や湿度、生クリームの脂肪分などによってバターが分離する早さは日々大きく変化するため分離タイミングの見極めには、長年受け継がれてきた経験と知識が必要です。バターの担当者は、製造を重ねることによりその腕を磨き続けています。

効率化により品質を向上 進化を続ける製造現場



手間と時間をかけ、職人技によって製造される大山バターですが、その製造現場は常に進化しています。



バターカートニングマシン

パーチと呼ばれる銀色の紙でバターを包む工程は、2010年に導入された包装機によって自動化が進められ、その後も改良を重ねることで現在は包装工程の無人化が実現しました。

また、出荷前のカートン詰め作業も、昨年導入されたカートニングマシンによって自動化が進められています。これらの設備導入による自動化は、省力化の他にもヒューマンエラーによる不良品の削減にも効果を発揮します。

消費者へ変わらぬ美味しさを届けるため、伝統的な製法を守りつつも、最新の設備や手法を取り入れることにより、バターの製造現場は常に進化し続けています。

白の一滴から生まれる 純白のバター



大山バターは、一般的なバターと比べて色が白いことも大きな特徴の一つです。

バターの色は、乳牛が食べる飼料によって決まると言われています。一般的なバターが黄色い色をしているのは、乳脂肪の中に存在するカロテンの色素によるもので、北海道など、放牧を中心とした酪農が盛んな地域の生乳を使用したバターは黄色いものが多いそうです。

一方、鳥取県産の生乳は、乾燥やサイレージをはじめとする粗飼料、穀類を中心とした濃厚飼料を与えて



大山バターは白い色が印象的です

います。乾草やサイレージなどにはカロテンが少なく、バターの色は黄色味が薄くなります。色の違いによってバターの味わいに差が出ることはありますが、白の一滴から生まれた大山バターの白い色は、鳥取県の生乳生産と深く関わっていました。

ファンは消費者以外にも プロも認めるクオリティ



大山バターの品質と美味しさは各方面のプロからも認められ、地元を中心とした菓子メーカーや洋菓子店などでは大山バターを使用したスイーツが数多く販売されています。

また、日本中・世界中からこだわりの商品を集めて展開するスーパー「成城石井」では14年も前から大山バターの取り扱いが始まり、舌の肥えたお客様からも高い評価を得ています。

消費者のみならず、プロからも愛される大山バター。その品質の高さと美味しさの裏には、酪農家が愛情込めて育てた健康な牛から生まれる生乳を、品質を損なうことなくバターへ加工するため日々技術を高め続ける製造現場の努力が隠されています。

みなさんも、明日の朝食は大山バターをたっぷり塗ったトーストにしてみませんか？

参考資料

(一社) 日本乳業協会ホームページ
(一社) Jミルクホームページ



大山乳業農協からリモートで参加しました(第2WEB商談会議室)



小学校からのリモート授業のようす



琴浦町社会福祉協議会にて(小前組合長と中井一朗会長)



事業所にもお届けしました(ライフサポートゆづき様)

営業課レポート

全国学校給食週間に 県西部の小学校とリモート授業開催

大山乳業農協では、毎年全国学校給食週間にあわせ、給食センターの依頼を受けて小学校を訪問し出張授業や交流給食を行っています。

今年は年末から県内でも新型コロナウイルス第6波の影響が強まったため、大山乳業農協と学校をオンラインで繋ぎ「リモート授業」という形で実施しました。

1月24日～28日の5日間で県西部地区の明道小学校、溝口小学校、車尾小学校、大篠津小学校の4校で実施したリモート授業では酪農や大山乳業農協の事、牛から搾られた生乳がどのようにして学校へ届くのかを映像や写真、クイズを使って紹介しました。中でも、牛のタペストリーを広げると、牛の大きさに子ども達からは驚きの声があがっていました。

今年は画面を通しての授業になり少し残念でしたが、時間が足りないほどたくさんの質問があり、とても有意義な学習の時間になりました。

営業課レポート

緊急牛乳消費促進事業 県内事業所にロングライフ牛乳寄付

この度1月27日から2月2日にかけて、大山乳業農協より県内の老人ホームやこども食堂へロングライフ牛乳の寄付を行いました。

この寄付は、新型コロナウイルスの長期的な影響により牛乳の業務用需要が回復しない中、特に学校給食が休止となる年末年始に処理不可能乳の発生が危惧される状況となったことを受け、中国生乳販連が毎日牛乳に委託し、中国エリアの生乳を常温で長期保存できるロングライフ牛乳に加工し、配布する取り組みの1つで、大山乳業農協は県内約50ヶ所の事業所にロングライフ牛乳(200ml)12,768本を寄付しました。

今回、処理不可能乳の発生が危惧されるなか、大山乳業農協は幸いにも余乳の発生を回避していますが、年度末には全国的に再び処理不可能乳が発生する可能性もあると発表されています。

引き続き、大山乳業農協も処理不可能乳ゼロへの取り組みに協力していきます。



写真提供 VICTAS

大山乳業がスポンサー契約を行っている 松平賢二選手よりメッセージが届きました！

組合員、職員の皆様いつも応援ありがとうございます。私は現在プロ卓球選手として活動しています。

32歳という年齢は昨今の日本卓球界ではベテランの域に入ります。しかし、私はまだまだ長く現役を続けるつもりです(卓球界のキングカズを目指します)。

その為にはケガをしない丈夫な身体作りが大切です。皆さんが大切に育ててくれた牛、そして丁寧に作られた乳製品のお陰で私は強い身体を作れていると実感しています。本当に感謝しています。

私は特に牛乳が大好きです。あの濃さがある中にもすっきりとした味わいがたまりません。

引き続き、皆さんと共に牛乳離れをしている子供たちや沢山の方々に大山乳業の良さ、牛乳の美味しさを発信していけたら幸いです。

松平賢二



松平選手の
twitterは
こちらから

「わかば」作文・図画 コンクール入賞作品紹介

鳥取県知事賞

「わが家のアイドル」

社小4年 田中万純さん



作文の部

「チビちゃん、おまたせ。来たよ。」

私が一年生の時に生まれた牛のチビは、とても小さくて、ぬいぐるみのようだったので、そう呼んでいました。私は、チビにほ乳びんでミルクやえさをあげるお手伝いをしながら、お世話をするのが好きでした。チビは、ミルクやえさをあげるうちに、私を見たらついてきて、さくから顔を出して来るようになりました。近づきすぎて、大きな舌でなめられることもあったけど、かわいくてたまりませんでした。チビはえさをモリモリ食べて、あつという間に私より大きくなりました。私の家は、らく農をしていて、六カ月たつと放牧場へ上がり、出産が近くなるとまたわが家に帰ってきます。チビが行ってしまう時は、少しさみしくなったけど、今度はお腹の赤ちゃんと一緒に帰ってくると思うと、その時が待ち遠しくなりました。

チビが放牧場から帰ってくる日、私は学校から帰ってからすぐに、ランドセルを置いて、牛舎に走って行きました。チビを見てすぐ、「チビっ。チビっ。チビちゃん。おかえり。」と、声をかけました。チビは覚えていないかなと思っただけ、私の方に近づいて、さくから顔を出してきました。チビが小さかった時のように、そつと顔をなでてあげました。お腹がふくらして、体も大きくなっていったけど、チビの顔や体のもようを覚えていたので、す

ぐにチビだとわかりました。私を覚えていて、顔をなでさせてくれたのかなと思うと、とてもうれしかったです。

いよいよ出産する時、私は、はなれた所で静かに待つことにしました。でも、チビが苦しうにうなり声を上げたので、チビ大丈夫かな。元気に赤ちゃん生まれるかな。と心配になりました。チビのおしりから、赤ちゃんの前足が二本見えて、ロープで前足を結び、祖父が、「順調だよ。ゆっくりゆっくりひっぱるよ。せえの。せえの。」と、声をかけました。祖父と父がロープをひっぱって、チビの出産を助けてあげると、ヌルヌルと赤ちゃんが出てきました。祖母と母がタオルで子牛の顔や体をふいてあげると、子牛が顔を起こしたので、私はほっとしました。チビはつかれてるようだったけど、しばらくすると、子牛を見つけて、何度も何度も体をなめてきれいにしてあげていました。子牛を見ると、顔ともようがチビとそっくりだったので、チビ子と名付けました。

祖母から、チビが、がんばってたくさんの牛乳を出してくれていると教えてくれました。また、祖父からは、子牛の時からかわいがっている牛は、成牛になってからも、人なつこく、大人しい牛が多いと聞きました。私は今日も明日も、子牛にたくさんの愛情をそそいで育てたいと思います。

ふれあう楽しさ伝えたい

家族のように暮らすチビとのたくさんの思い出を知ってもらい、動物とふれあうことの楽しさを伝えたいと思い、この作文を書きました。「読んでみたい」と思ってもらえる題名を付けることができたと思います。

指導課 通信

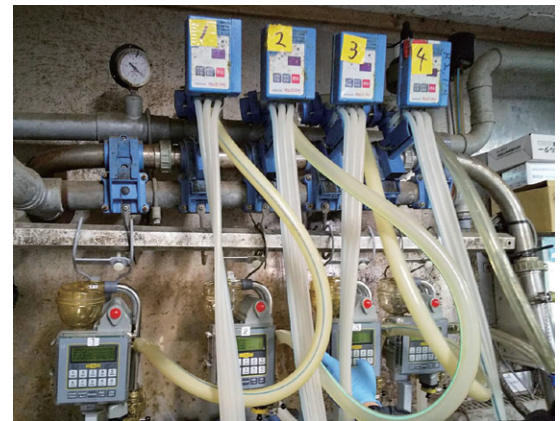
今月のトピックス

- ・ラクトコーダーを用いた洗浄確認について

ラクトコーダーを用いた洗浄確認について

●令和4年度 搾乳機器の洗浄確認の実施

指導課では昨年より、希望者を対象にラクトコーダーを用いて、ミルカーの自動洗浄が上手くできているかの確認を行っております。今年もご案内しておりますように、2月から4月にかけて実施させて頂く予定です。書面での希望取りまとめは既に締め切らせて頂いておりますが、指導課としてはより多くの組合員様の洗浄確認をしたいと考えておりますので、今回の文書を読んで頂いて、ご自分の牛舎でも実施したいと思われましたら、ぜひ指導課までご連絡を頂けたらと思います。



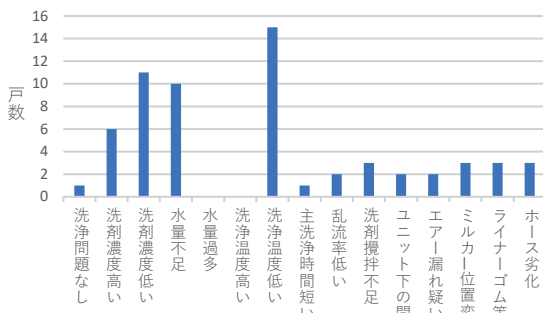
検定器具と同じようにミルカーのホースをつないで使用します

●昨年度の成果報告

昨年度は23戸で実施させて頂きました。その結果、まったく問題がなかったのが1戸、洗剤濃度不良が17戸、洗浄水量不良が10戸、洗浄温度不良が15戸、その他にもさまざまな問題が見つかりました。(グラフ1) また、ラクトコーダーをミルカーに設置して洗浄を回すと、図-1のような洗浄データが取れます。

上段の赤ラインは洗浄水の温度です。特に注意すべき点は、排水時に40℃以上あるかどうかです。温度が低いと洗剤の効果が期待できず、一度取れた汚れが再固着してしまう等の問題があります。温度が低いという結果が出たが、設定上これ以上温度を上げることが出来ないという事例もあり

グラフ1 洗浄確認結果



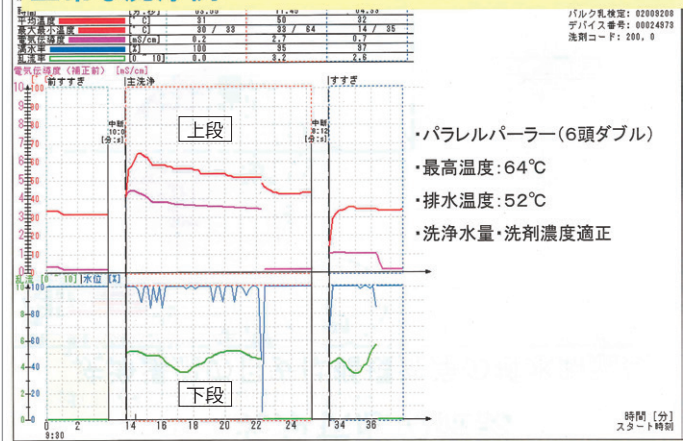
ます。その場合は、低温(33度程度)でも効果のある洗剤(RTD)をご紹介しております。同じく上段の紫ラインは電気伝導度です。電気伝導度を見ることで、洗剤の濃度が適切か判断することが出来ます。指導課職員が洗浄確認を行うときには、洗浄水槽の寸法、洗浄水の水位を測って洗剤の適切な量を計算し、どう調整すればいいのかをお伝えしております。

下段の青ラインは水量です。目安として、100%になっている状態が1分以上続いている状態が複数回あると適正と判断しております。水量不足の波形が出た場合、単純に洗浄水槽に

溜まる水量が不足していることもあります。ミルカーの設置方法によって洗浄水が吸いにくくなっている場合もあります。例えば、ミルカーをブリッジにかけずに洗浄水槽にべた置きしたり、ブリッジにかけていてもホースの重みで手前に傾いている場合などは、洗浄水を十分に吸うことが出来ません。

昨年度実施した時もこのような状態の牛舎が何か所ありましたが、ブリッジの改良や置き方の工夫等を行い、改善した例もございます。

正常な洗浄例





ミルカーの置き方を工夫している様子（写真左：改良前）



洗浄水槽内の水位や実際に出している洗剤量を計測します

下段の緑ラインは乱流率です。これはスラグ(泡)の状態を表しています。ミルクロー内やパイプラインの中をスラグで洗えているかの指標になります。例えば飲み終わったペットボトルの中を洗うとき、水を半分くらい入れてシャカシャカ振って洗われると思います。乱流率が低いということでは、ペットボトルに水を満杯に入れている状態と同じことです。スラグが起きないと物理的なこすり洗いが出来



既存のブリッジにステン板を溶接して2cm程度伸ばした事例（この水槽ではこれにより洗浄水が約6L増える）

ブリッジを改良された例（ブリッジを下げ、ミルカーを引っ掛けられる棒を取り付けた）



ATP検査の様子

ないため、上手く洗えていないと判断できます。ここまでラクトコーダーのグラフを見てわかる主なポイントをご説明致しましたが、実際の洗浄確認の時には指導課職員が立ち会い、目視で確認しますので、その他さまざまな異常の発見にもつながりました。また、希望があればATP拭き取り検査も行っております。ATPとは、生物の細胞内に存在するエネルギー分子ですがこの残存により洗浄不良かどうかを判断することができます。洗浄後のミルクロー内やライナー内を綿棒で拭き取り、専用のキットで値を調べます。ATP検査をすることで、洗浄後のミルカーの清浄度を迅速に検査することが出来ます。有料の検査キットを用いて検査しますので、1ヶ所につき300円とさせていただきます。

●洗浄確認の意義について

ミルカーの洗浄確認と聞くと、細菌数に関することだと思われるかもしれませんが、実は直結しているのはむしろ乳房炎の方なのです。ミルカーの洗浄が不十分で、汚れが残ったままの状態です。乳頭を逆流してしまったり、ドロップレットが起りブロー鳴らしながら搾ってしまったとき、ミルカーの中の汚れも一緒に乳頭に逆流してしまいます。そうして乳頭に入ってしまった汚れが乳房炎の原因になってしまいます。特に注意が必要なのは、バケットミルカーです。バケットミルカーの洗浄は、いくつものバケツを用意し、ミルカーを出し入れしてエアブラシをかけて洗わなければきれいになりません。昨年度回った中でも、自動洗浄をかけているミルカーはきれいでも、バケットミルカーの洗浄が不十分なところが何か所ありました。バケットミルカーは分娩後の牛に使うものですので、前述した要領で乳頭に汚れが入ってしまったら、牛の免疫力が低下する、泌乳ピークの負のエネルギーバランス時に乳房炎を発症してしまう可能性が高くなります。乳房炎でお悩みの方は、もしかしたら洗浄に問題があるのかもしれない。ぜひ1度、一緒に確認してみませんか。

第10回 一般衛生管理

2月に入っても寒い日が続きますね。朝布団から出るのが嫌になってしまします・・・。

さて、先日弊組合で認証取得しているFSSC(食品安全の国際規格)の維持審査を受審しました。FSSCでは食品安全を守るための様々な決め事があるのですが、その中でも「前提条件プログラム」と呼ばれるものが重要視されています。

「前提条件プログラム」と聞いても、いまちピンとこないかと思います。具体的には、手洗いをしっかりする、掃除をする、体調管理、身だしなみなど、食品を製造する上でやっておくべき当たり前のことが「前提条件プログラム」にあたります。弊組合でも、例えば手洗いであれば30秒タイマーを使って手洗いをするなど、自分達のルールを決めて取り組んでいます。「前提条件プログラム」は食品安全の土台であり、これがきちんとできていないと、いくら製造工程の管理をがんばっても、その効果は激減してしまいます。

土台となるのは、以前より取り組んでいる7Sも同じです。当たり前のことが当たり前にできていることが大事であり、その上で製造工程の管理をしっかりしていく必要があります。

受審を機に再度気持ちを引き締め、基本に立ち返り、取り組んでいきたいと思ひます。



のむヨーグルトは私の思い出の味です!

J A 鳥取県人権・同和問題対策推進本部からのお知らせ

J Aグループ鳥取では人権・同和問題に対して、令和3年度より「第8次(2021~2023年度)J A鳥取県人権・同和問題対策推進方針」をもとに、差別と偏見のない社会の実現のために取り組んでいきます。組合員の方はもとより、地域住民の方にも人権・同和問題が身近な存在であることに気づいてもらうため、第8次期間中(2021~2023年度)も引き続き、人権・同和問題に対する啓発記事を年4回連載します。

第26回「子どもの人権問題について」

子どもに関する人権について、特に問題になっているものとして「子ども同士の暴力や仲間はずれ、無視などのいじめ」があげられています。

いじめは、特定の子どものだけに限られる問題ではありません。特に、仲間はずれや無視、悪口といったいじめの場合、小学校4年生から中学校3年生までの6年間で、子どもたちのほとんどが被害経験を持つと同時に加害経験も持つているとの調査結果もあり、多くの子どもが入れ替わりながらいじめに関わっている実態があります。特に最近では、インターネット上のいじめが増加して、いじめがいかに残酷で、取り返し

特徴として、書き込んだ悪口が加速的に広まり、多くの人を巻き込んで被害者を追いこみ、深刻な事態へエスカレートすることもあります。その結果、最悪のケースとして自ら命を絶つといった事例も実際に起きています。

いじめは、いじめを受ける子どもの人権が侵害され、尊厳が損なわれるおそれのある重大な問題です。いじめをなくするためには、普段から子どもたちが人権の大切さを教育を通じて学び、人権意識を養っていくことが重要です。

学校での教育も重要ですが、家庭においても、普段から子どもと話し合う時間を作るように心がけ、家庭が子どもにとって安心できる居場所となり、子どものささいな変化も見落とさないように努めることが大切です。



皆さんこんにちは。営業課の法本です。
私のおすすめ製品は「鳥取大山のむヨーグルト」です。
大山乳業ののむヨーグルトは入組する以前から好きで、小さいころから家族に買ってもらって飲んでた思い出の製品です。

私は朝食の時に、よく飲んでいるのですが、容量が180gと少量でも濃厚なヨーグルトの味がしっかり感じられ飲みごたえがあります。またチルドカップ容器なので手軽に飲むことができます。皆様もぜひ飲んでみてください!





大山乳業農業協同組合 からのお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

理事会にて次の議案が決議されました

2月1日提出議案

- 第1号議案 令和3年度事業実績について
- 第2号議案 令和3年度決算案について
- 第3号議案 令和3年度増資計画の進捗について
- 第4号議案 令和4年度事業計画案について
- 第5号議案 飼料倉庫の建設について
- 第6号議案 固定資産の処分(案)について
- 第7号議案 伯耆酪農商事(株)の事業の全部譲渡について
- 第8号議案 諸規定の一部改正について
- 第9号議案 次期役員改選に向けた各地区役員定数について
- 第10号議案 令和4年度コンプライアンス計画について
- 第11号議案 鳥取県酪農民連合会の畜産・酪農政策要請に対する助成について

異動辞令等

【令和4年2月21日付け】

(所属及び役職)(氏名)(旧所属及び役職)
酪農指導部

指導課係長 杉嶋 健司 総務課係長

【令和4年3月21日付け】

(所属及び役職)(氏名)(旧所属及び役職)
販売部

営業課係長 谷口 徹 京都(営)係長
物流課職員 谷口 道子 京都(営)職員

【下記の退職日をもって以下の方が退職されました】

(所属及び役職)(氏名)(退職日)
物流課職員 村上 瑞季 令和4年1月29日付

新商品のお知らせ

3月1日に発売するアイス商品のご紹介です

大山おいしいチョコ

35ml×8本

新発売

鳥取県産生乳を使用したバニラアイス
をほろ苦く、パリパリ食感のチョコ
レートコーティングで包みました。



白バラミルクバニラ

100ml

新発売

白バラ牛乳と自家製れん乳を
使用したシンプルな味わいの
アイスです。



白バラアイスモナカ

50ml×4個

リニューアル

白バラ牛乳を使用したミルク
風味のアイス、チョコでは
さんだシンプルなアイス
モナカです。



直売所カウィーのみるく館からのお知らせ

新発売のシュクレアがお買い得!

何が 開催期間: 3月1日~3月31日
当たるか お楽しみ! **みるくガチャ**
税込み1,000円以上購入で1回チャレンジ

期間 白バラ ラッピング付
限定 ステーションナリー
セット 1,300円(税込)
販売期間: 3月1日~4月10日 新入学のお祝い込

ホワイトデーのラッピング、お彼岸のお供
え物の包装・のしを承っております。事前
予約できますので、ぜひカウィーのみるく
館をご利用ください!



ホームページ からのお声



■ つい最近旅行で鳥取に行った時に初
めて白バラ牛乳を飲んでその美味
しさに感動しました。少し大袈裟か
もしれませんが、これを飲んだら他
のが飲めないって言うのを、人生で
初めて体験しました。(徳島県)

■ 大山乳業の牛乳や、みるくの里での
アイスクリームの味に惚れて、この
春から鳥取に移住することにしま
した。もともとたくさんの大山乳業の
製品を食べて、更なるおいしさの発
見をしてみたいです。(鳥取県)

■ 出身が鳥取なので、大山乳業の牛乳
を飲んで育ちました。とくに白バラ
コーヒが大好きです。最近はおな
な帰省できないので寂しいです
が、東京でも購入できるので嬉しく
思っています。(東京都)

■ 40年以上上宅配でお世話になってい
ます。家族構成は変わりましたが、
配達して頂けるのは、今の生活で
はありがたい、変わらず利用した
いと思っています。安心していただ
くことができます。(奈良県)

■ 大山まきばみるくの里にも遊びに
行かせていただきました。そこで
牛乳を購入し飲みました。子供が
「新鮮な牛乳で美味しいね」と何度
も言うので近所さんのお土産は
牛乳になりました!(広島県)

■ 毎年、クリスマスケーキを購入し
ています。スポンジもフワフワで
美味しくて家族みんなに好評です。
カフェオレ等も生協を利用して購
入しています。(島根県)

鳥取県の酪農関係者を代表して 大山乳業よりメッセージ動画を公開しました



昨年末、全国的に生乳廃棄のおそれが生じ、関係団体からの呼びかけにより、年末年始の生乳廃棄発生を回避することができたものの、業界団体「Jミルク」は1月28日に、学校が春休みに入る3月末に再び生乳が余る可能性があることを明らかにしました。

大山乳業農協では、この発信をうけ、企画から編集までを全て職員・組合員が自前で行い、酪農生産者の生活を守るべく、家庭での積極的な牛乳消費を呼びかけるために、リレー方式で呼びかけるメッセージ動画を公開しました。動画は組合ホームページやSNSで発信しています。ぜひご覧ください。

編集後記

旧暦で使われる和風月名。2月「如月」は衣を重ね着する「衣更着（きさらぎ）」とも言います。調べてみるとその他にも「令月（れいげつ）」という異名もあり、「何をするにもいい月、素晴らしい月」という意味がありました。寒い冬から春に向かうこの季節、私達にも良い知らせが訪れることを願っています。

組合の公式SNSアカウントでも情報発信中!!



twitter



Facebook



Instagram

大山乳業農協ではホームページだけでなく、ソーシャルメディアを活用した情報発信も行っています。ぜひチェックしてみてください!



YouTube

酪農だよりに関するご意見ご感想は大山乳業農協
お問合せフォームからお寄せください
QRコードからもメールアドレスを取得できます▶



酪農だより vol.721

発行責任者／小前孝夫 編集責任者／平野 浩
印刷所／山本印刷株式会社 発行日／令和4年2月20日

どこでも白バラ工場見学 オンライン工場見学動画を作成しました



この度、大山乳業農協では工場見学動画を作成しました。この動画は、長引く新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされている工場見学の再開を希望するお客様の声に応えるかたちで企画、制作しました。

動画では、実際に工場見学と同じコースをスタッフの説明と一緒に視聴する事ができます。また、複数のカメラを使い、実際の見学者の目線と同じ映像を見られるシーンもあります。

この動画は2月下旬より組合YouTubeチャンネル「COWYTV」で公開する他、様々なイベントで活用する予定です。

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます



今回紹介するのは、平成元年11月21日発行「酪農だより第334号」より、牛乳・乳製品利用料理コンクール鳥取県大会の様子です。同大会では出品数67品の中から大山乳業の職員が考案した魚介（シーフード）を使ったしぐれ煮の「シーグレ煮」が最優秀賞に輝き、県代表として全国大会にも出場されました。



大山乳業農業協同組合

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp